

第 8 回代表者会議資料

文責：愛沢小百合

●論文提出・要約文提出について

- ・提出方法 kantou10semi@yahoo.co.jp あてにメール
- ・提出期限 **11月21日(土) 昼12時まで、時間厳守**
(※提出が遅れた場合、論文評価対象から外させていただきます。)
- ・メールタイトル ○○大学○○ゼミ○○財○○班 (例：多摩大学豊田ゼミ耐久消費財山田班)
- ・データ形式 バージョン2003に対応したもの
- ・データ名 ○○大学○○ゼミ○○財○○班 (例：多摩大学豊田ゼミ耐久消費財山田班)
※4つのデータを添付してください。
①本論文の pdf ファイル ②本論文の word ファイル
③要約文の pdf ファイル ④要約文の word ファイル
- ・メール本文 論文タイトルをご記入ください。
(論文タイトルは、「耐久消費財チーム発表」ではなく、「インターネットショッピングにおける最後のひと押し」などの研究内容の要点をまとめたもの)
(※提出資料は、大会終了後、HPにアップさせていただきます。)

●冊子について

冊子には、各チームの要約文を掲載させていただきます。
(最終発表会当日各チームへ人数分・審査員の方へ配布いたします。また、10ゼミ代表者へは、ゼミの先生分として、もう一冊配布いたします。)

やはり、形式がそろっていたほうが、見栄えもいいと思います。ですので、簡単なフォーマットをHP上にアップいたしますので、そちらをダウンロードの上、書き込んでください。要約文フォーマットは以下の通りです。

《要約論文フォーマット》

- ・日本語文法上の表現(接続語、主述関係、指示代名詞など)の正確性に留意すること。
- ・文字数は3,000字前後(A4で2枚以内)で、ワープロ書きとし、図表や正誤表など部分的にも手書きは禁止する。
- ・原稿は横書きとし、フォントは「MS明朝」「Century」とする。
- ・本文のフォント指定は9ポイントを用いること。
- ・英数字は半角を使用のこと。数字は算用数字を使用のこと。
- ・カッコは全角を使用し、カッコおよびカッコ内はフォントサイズを1ポイント下げること。
- ・成語、慣用語、概数などには漢字を用いる。(例) 第一に、第二次世界大戦、十数種 etc
- ・第一段のマル付数字、①、②、③、第二段は1. 2. 3. 第三段は(1)、(2)、(3)を用いる。

●グループピングについて

以下のグループピングは10月30日(金)@多摩にてホスト校(多摩)・ホストゼミ3校(慶応義塾・中央・多摩)の4者にて協議をさせていただきました。

グループピングしていく際の優先順位として、代表者会議で決定したように

①同じような業界 ②同じような論・視点 ③にている研究内容・知識 (④ゼミの兼ね合い)

を考慮し、行っていきました。

耐久消費材

Aグループ	Bグループ	Cグループ
慶応義塾大学 清水ゼミ (加藤班) 中央大学 久保ゼミ (小林班) 明治学院大学 肥田ゼミ (和田班) 立教大学 有馬ゼミ (前田班) 立教大学 高岡ゼミ (大野班)	慶応義塾大学 清水ゼミ (稲田班) 多摩大学 豊田ゼミ (田口班) 法政大学 竹内ゼミ (鈴木班) 明治学院大学 肥田ゼミ (大木班) 立教大学 高岡ゼミ (菅井班)	学習院大学 上田ゼミ (岩脇班) 慶応義塾大学 小野ゼミ (橋本班) 法政大学 竹内ゼミ (萩原班) 明治学院大学 肥田ゼミ (小泉班) 立教大学 高岡ゼミ (鈴木班)

非耐久消費財

Aグループ	Bグループ	Cグループ
学習院大学 上田ゼミ (山本班) 専修大学 奥瀬ゼミ (玉島班) 立教大学 高岡ゼミ (大角班) 早稲田大学 守口ゼミ (河股班)	慶応義塾大学 清水ゼミ (鈴木班) 中央大学 久保ゼミ (中川班) 立教大学 有馬ゼミ (童子班) 早稲田大学 守口ゼミ (竹川班) 早稲田大学 守口ゼミ (古賀班)	多摩大学 豊田ゼミ (山崎班) 法政大学 竹内ゼミ (角山班) 立教大学 高岡ゼミ (田口班) 早稲田大学 守口ゼミ (松原班)

無形財

Aグループ	Bグループ	Cグループ
慶応義塾大学 清水ゼミ (北班) 高崎経済大学 佐々木ゼミ (西村班) 法政大学 竹内ゼミ (大田班) 立教大学 有馬ゼミ (松崎班)	学習院大学 上田ゼミ (建石班) 駒沢大学 菅野ゼミ (北原班) 専修大学 奥瀬ゼミ (白男川班) 高崎経済大学 佐々木ゼミ (坂井班) 立教大学 高岡ゼミ (藤井班)	駒沢大学 菅野ゼミ (和田班) 多摩大学 豊田ゼミ (中村班) 千葉商科大学 商品研究部 (向笠班) 早稲田大学 久保ゼミ (篠原班) 早稲田大学 守口ゼミ (横倉班)

発表順番については、第8回代表者会議にてくじ引きを行わせていただきます。

最終発表会に関する注意事項

1. 当日の流れについて(タイムスケジュールは次ページ)

- ・開催日 12月5日(土)
- ・開催場所 早稲田大学早稲田キャンパス
- ・集合場所 1次審査教室(※開会式は行いません。また各教室の指定は後日HP上に情報掲載します。)

2. 各班発表について

- ・発表時間 20分(時間厳守)
- ・審査員よりコメント 10分(院生・実務家よりコメントをいただいたのち、時間があれば学生からの質疑応答の時間を設けます。また、審査員の方にはコメントペーパーを記入していただきますので、そちらも発表終了後お渡しいたします。)

3. プレゼン用パワーポイント資料について

- ・提出方法 kantou10semi@yahoo.co.jp あてにメール
 - ・提出期限 **12月4日(金) 12時(時間厳守)**
 - ・メールタイトル ○○大学○○ゼミ○○財○○班 (例:多摩大学豊田ゼミ耐久消費財山田班)
 - ・データ形式 バージョン2003に対応したもの
 - ・データ名 ○○大学○○ゼミ○○財○○班 (例:多摩大学豊田ゼミ耐久消費財山田班)
- (※プレゼン用資料は、大会終了後、HPにアップさせていただきます。)

4. 印刷資料について

- ・印刷部数 審査員の確定人数が決定していないため、再度お知らせさせていただきます。(資料は各チームでご用意ください。スライド数の指定などはいたしません。)

5. 懇親会について

- ・場所 高田馬場周辺
- ・時間 19:00~21:00(予定)
参加の有無を11月27日(金)までに愛沢までお知らせください。**(時間厳守)**
(キャンセルされた場合、キャンセル料が発生しますので、確定人数をお知らせください。)
- ・料金 3,000~3,500円
(閉会式終了後、指定された場所まで代表者が参加人数分をまとめ、封筒に入れご持参ください。また、封筒には参加人数・合計金額を表記してください。)

6. その他

- ・服装はスーツ着用です(派手なものをご遠慮ください)
- ・各ゼミの先生や後輩、先輩等にもぜひお越しいただけるよう、お声掛けください。

最終発表会当日タイムスケジュール

関東10ゼミ討論会2009 12月5日 討論会当日									
time・教室	教室1 耐久財Ⅰ	教室2 耐久財Ⅱ	教室3 耐久財Ⅲ	教室4 非耐久財Ⅰ	教室5 非耐久財Ⅱ	教室6 非耐久財Ⅲ	教室7 無形財Ⅰ	教室8 無形財Ⅱ	教室9 無形財Ⅲ
一次発表・審査	9:30 全体集合時間 各教室での待機								
	10:00 一次発表 ① (プレゼンテーション20分)								
	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ
	10:20 一次発表 ② (プレゼンテーション20分)								
	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ
	10:40 一次発表 ③ (プレゼンテーション20分)								
	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ
	11:00 一次発表 ④ (プレゼンテーション20分)								
	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ
	11:20 一次発表 ⑤ (プレゼンテーション20分)								
○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ				○○大学 ○○ゼミ	○○大学 ○○ゼミ	
11:40 大学院生+討論会0B による各班に対するフィードバック									
休憩	12:30 昼休憩 30分								
	13:00 一次審査 結果発表								
二次発表・審査	13:10 二次発表 ① (プレゼンテーション20分)								
	耐久財:7号館418教室 通過班① 二次発表			非耐久財:7号館414教室 通過班① 二次発表			無形財:7号館419教室 通過班① 二次発表		
	13:30 二次発表 ① (プレゼンテーション20分)								
	耐久財:通過班② 二次発表			非耐久財:通過班② 二次発表			無形財:通過班② 二次発表		
	13:50 二次発表 ① (プレゼンテーション20分)								
耐久財:通過班③ 二次発表			非耐久財:通過班③ 二次発表			無形財:通過班③ 二次発表			
14:10 時間調整									
休憩	14:40 休憩・審査時間								
	15:00 閉会式開会:7号館418教室 二次審査 結果発表								
最終発表・閉会式	15:10 最終発表 ① 耐久財班 発表 (プレゼンテーション20分)								
	15:30 最終発表 ② 非耐久財班 発表 (プレゼンテーション20分)								
	15:50 最終発表 ③ 無形財班 発表 (プレゼンテーション20分)								
	16:10 学生による投票								
	16:20 マスターによる最終発表班に対するフィードバック (各班×10分程度)								
	16:50 各賞の発表								
	17:10 JMAより								
	17:40 閉会のことば 関東10ゼミ討論会代表:愛沢								
	18:00 閉会式 閉会								

関東 10 ゼミ討論会 2009 概要

関東 10 ゼミ討論会とは

関東圏にあるマーケティングを専攻しているゼミが集結し、12月の発表に向けて研究発表・討論を行う場として開催されます。それぞれ研究分野が違うゼミ・興味が違う学生と、また大学院生や実務家の方と触れ合うことで、自分達の知識の幅を広げてもらうことを目的とします。

この大会は日本マーケティング協会様のご協力を頂きながら、学生主体で関東 10 ゼミ討論会の運営を行っていきます。

また、本年度のホスト校は多摩大学豊田ゼミナールが行っております。

代表：多摩大学豊田ゼミナール第5期生 愛沢小百合

2009 年度統一テーマ

統一テーマ：【不況に打ち勝つマーケティング】

関東 10 ゼミ討論会 2008 の閉会式では、嶋口先生の言葉の引用として、以下のようなお話をいただきました。

「経済学者は、日本経済に横たわる暗く厚い雲の存在を指摘する。

確かに、今、目の前には暗く厚い雲があるのかもしれない。

でも、それを指摘するだけでは何もならない。マーケティングに携わる我々は、

どんな時も、その雲の向こうに広がる青い空を見ている。厚い雲を晴らし、

その青空で活躍することこそマーケティングにしかできないことだ。

不況の真っ直中にいる我々は、ともすると暗く厚い雲の先にある青く広がる空を忘れてしまう。だからこそ、改めてこの不況を正面からとらえ、少しでもこの厚い雲に風穴を開ける努力をしたい。」

現在、不況の真っ直中ですが、マーケティングは世の中を明るくできる学問であるという信念もと、不況に風穴をあけるべく 12 月までのおよそ 7 か月間、他大学と刺激し合い、論文を作成していきます。

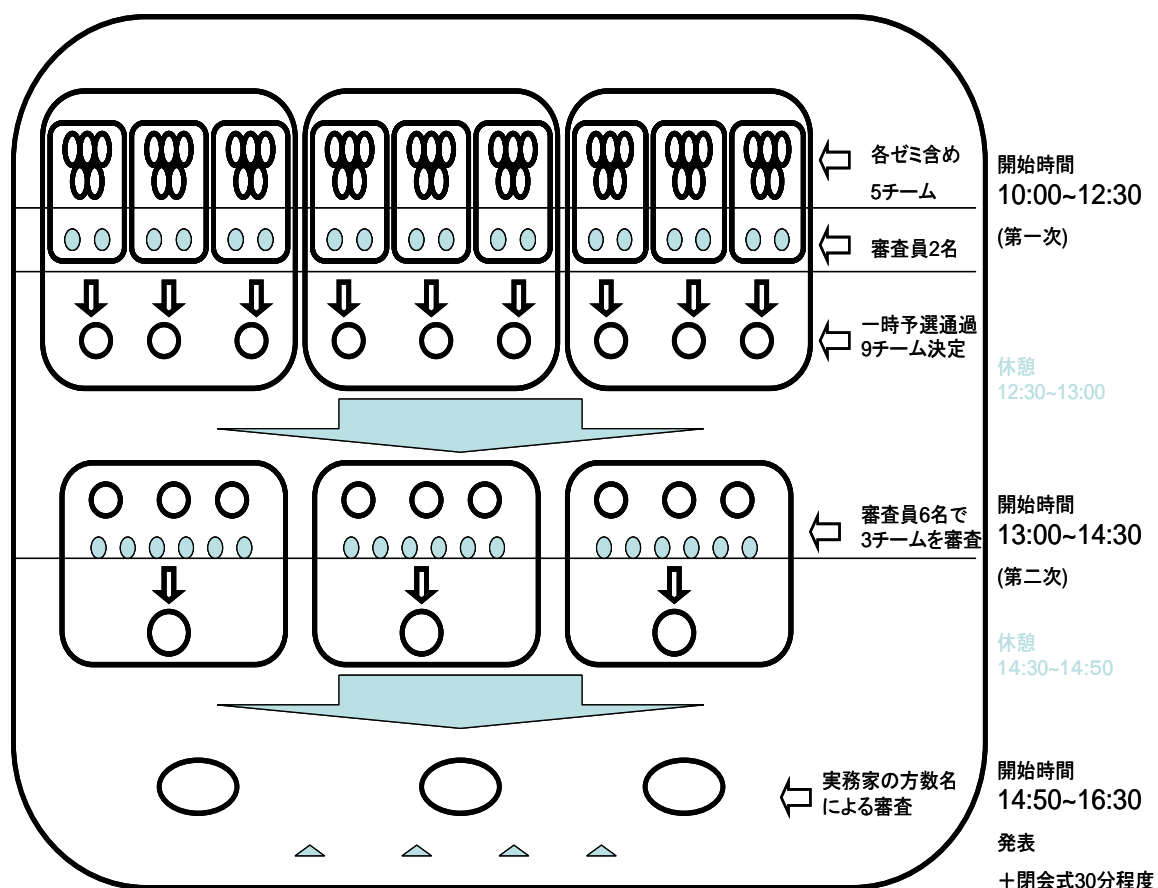
ねらい

上記の統一テーマを踏まえ、あらゆる業界の不況下における問題点を打破するような、理論やモデル等を発見・構築し、それを証明したうえで、実務への応用までもっていくことを本討論会の目的といたします。

切り口

本年度は有形財(耐久消費財)・有形財(非耐久消費財)・無形財の3財に分かれ、3財に属していると思われる業界に対し、論文を作成していきます。

審査概要



- ① 1次審査では1つの財所属チームを3部屋・4~5チームにわけ、1部屋から1チームを選抜する。
- ② 2次審査では1次審査より選抜されたチームから1チームを選抜する。これにより、各財代表チームが決定する。
- ③ 3次審査では各財代表チームから、関東10ゼミ討論会2009の最優秀チームを決定する。

審査員について

代表者会議当日に進行状況をお知らせいたします。

関東10ゼミ討論会2009運営委員長
多摩大学経営情報学部豊田ゼミ第5期生
愛沢小百合
Tel:090-5580-8705
E-mail:20721001sa@tama.ac.jp